

データヘルス計画の評価・見直しの整理表

STEP1							データヘルス計画全体の目標				STEP4	
目標		実績値					評価	達成につながる 取組・要素	未達につながる 背景・要因	今後の方向性	最終 目標値	
指標	目標値	ベース ライン	H29 年度	H30 年度	R1 年度							

STEP2							上記目標を達成するための個別保健事業				STEP3	
事業名	目標		実績値				評価	成功要因	未達要因	事業の方向性	最終 目標値	
	指標	目標値	ベース ライン	H29 年度	H30 年度	R1 年度						
ガン検診	受診率	大腸がん：12% (達成時期：R5年度)	4.6% (H28)	3.6% (H29)	4.2% (H30)	5.9% (R1)	a*	周知強化 ・個別受診勧奨実施。 ・年2回、検診（健診）受診推進強化月間設置 ・医師会等関係機関、企業連携	申込日が決められている。 市街地の実施場所が、1カ所のみ（福祉保健センター）	令和2年度～ ・申込方法変更 申込開始日設定→通年 ・肺がん検診実施体制強化 肺がん検診ツール 細かく地域を巡回。 検診セットボックス 企業連携で簡易機器測定実施 ・実施会場追加	12%	
		肺がん：12% (達成時期：R5年度)	1.5% (H28)	2.0% (H29)	2.4% (H30)	2.1% (R1)	b				12%	
		胃がん：12% (達成時期：R5年度)	2.7% (H28)	2.6% (H29)	2.8% (H30)	3.5% (R1)	a*				12%	
		子宮頸がん：25% (達成時期：R5年度)	14.1% (H28)	14.7% (H29)	15.1% (H30)	15.4% (R1)	a*				25%	
		乳がん：22% (達成時期：R5年度)	12.7% (H28)	12.2% (H29)	12.4% (H30)	13.4% (R1)	a*				22%	
特定健診	受診率	60% (達成時期：R5年度)	30.6% (H28)	31.4%	34.3%	36.2%	a*	治療中の人の多くが健診受診の必要性を認識していない。	引き続き紀北医師会に協力を依頼し、受診勧奨を実施していく。 ・引き続き対象者に電話や訪問、通知による受診勧奨を実施していく。	60%		
特定保健指導	実施率	60% (達成時期：R5年度)	5.3%	10.3%	13.3%	4.5%	a* R1:c	特定健診（集団）で保健指導実施。その際対象者の可能性のある方へ利用勧奨。個別訪問及び電話にて勧奨。	令和元年度はコロナ対策にて集団教室休止及び積極的勧奨自粛	事業継続。 利用勧奨強化継続 紀北医師会の理解協力を得る。 実施体制等検討	40%	
39歳以下の健康づくり健診	受診者数	30%の増加 (達成時期：R5年度)	61人	72人	65人	38人	b R1:c		令和元年度減少 夜間実施を設定なし	事業継続。 周知方法の検討	30%の増加	
30日間チャレンジの普及	30日間チャレンジ達成者割合	30% (達成時期：R5年度)	H30.10開始		17.52%	68.91%	a	一度取り組まれた方は、達成後も継続できている。	新規取り組み者が少ない。	事業継続。 周知方法の検討	30%	
生活習慣病重症化予防教室への参加促進	生活習慣の改善率	70% (達成時期：R5年度)	100% (H29)	100%	100%	100%	a	教室へ継続参加することで、行動変容につながった。		教室後の支援について検討 (教室後も改善した習慣を継続支援)	100%	

糖尿病性腎症重症化予防	保健指導実施率	—	R1、尾鷲市糖尿病性腎症保健指導マニュアルを作成。事業開始。	—	—	8.33%	D		・引き続き年度当初に個別通知による受診勧奨を実施する。 <b>保健指導</b> かかりつけ医の理解協力を得ながら、治療中である対象者へ、医療と保健をどう連携させ支援（指導）していくか検討を重ね、1事例1事例を丁寧に支援評価しながら、実績を積み上げていく。		
	通知による受診勧奨実施率	100% (達成時期：R5年度)	平成30年度新規事業	—	100%	100%	a	平成29年度に三重県プログラムが策定され、受診勧奨対象者の抽出基準が明確に示されたことによる。	当初目標は達成。業内容は継続。	事 100%	
	電話または個別訪問による受診勧奨実施率	目標値を定めていない	平成30年度新規事業	—	100%	100%	a	国保連合会のヘルスサポートシステムより、個別通知による受診勧奨後の医療機関や特定健診の受診状況等が容易に確認できるようになったことによる。	事業内容は継続。	—	
産後の母親の心の健康状態の把握	支援率	100% (達成時期：R5年度)	100% (H28)	100%	100%	100%	a	産後うつ質問票を活用し、子育ての様子聞き取りや母親の表情等から心の健康状態の把握に努めた	継続	100%	
心の健康づくりの実施	参加者数	30%以上の増加 (達成時期：R5年度)	平均5~7人/回 (H28)	平均5~7人/回	平均5~7人/回	平均5~7人/回	b	既に参加されている方は、習慣となり定着できた。	実施場所が、市街地から離れており、交通手段がない。	事業継続。 令和2年度コロナ対策で休止中他課との事業連携を検討。	30%以上の増加

ベースラインと実績値を見比べて、下記の4段階で評価  
a：改善している／b：変わらない  
c：悪化している／d：評価困難  
・「a：改善している」が、現状のままでは最終評価までに目標達成が危ぶまれるものを「a」と記載